



古高だより

令和5年度 第4号 令和6年2月14日発行
宮城県古川高等学校 <https://furuko.myswan.ed.jp/>

第69回青少年読書感想文全国コンクール 自由読書部門 毎日新聞社賞 受賞!

「本から学ぶ戦争の惨劇」

今回、青少年読書感想文コンクールで毎日新聞社賞をいただく運びとなりました。

『野火』を読み、自分の考えを感想文としてまとめ、アウトプットしたことで、私が戦争に向ける視線は大きく変容したように感じています。今改めて振り返ると、かつての私は戦争を「単なる数的な知識」としてしか理解していませんでした。死者は約何人、戦地はどこ、日本は敗戦国——そのような結果のみに目を向け、戦争とは何たるものかを知った気になっていました。この本では、戦争を実際に経験した筆者が、日本の敗戦が決定的となった戦地の状況を、目を背けたくなるほど悲惨な風景を、詳細に描写しています。それらは私の中の「戦争とは何か」を変えるには十分すぎるほど衝撃的でした。今を生きる私たち若者は、大きな戦争を経験していません。そのような人にこそ、この『野火』を読んでほしい、そして少しでも戦争について考えるきっかけにしてほしいと思います。最後に今回の受賞を糧とし、今後も努力していきたいです。(2年5組 戸田青依 築館中学校出身)



新生徒会長挨拶



生徒の皆様には平素より生徒会活動への格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、生徒会活動にご支援を賜りましたOB会をはじめとする各関係の皆様には深く感謝申し上げます。本校生徒会執行部は昨年十月に代替わりを行い、一年生七名、二年生七名の計十四名の新体制で活動しております。さて、成人年齢が十八歳に引き下げられた今、勉強だけに目を向けている生徒が多数見受けられます。高校在学中に成人となることを考えますと、勉強のみならず様々な価値観や考え方、社会に触れ、目を向けることが大切ではないでしょうか。そのようなことを学校生活の中で行うことができるのが、生徒会活動であると

考えております。しかし、生徒会活動へ関心を持って積極的に参加を頂ける生徒は少数であるのが現状であります。更なる生徒の皆様への積極的な参加を頂けるよう、これまで以上に努力させていただき所存です。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。(2年2組 生徒会長 菅原太智 古川西中学校出身)

この度、応援団長を務めることになった米林大雅だ。長き伝統を持つ古川高校の団長として、その名に恥じぬよう一層精進していきたいと思う。そして、伝統を引き継ぎつつも新たな挑戦をすることに躊躇せず、我々らしい応援団の形を模索し、それを新たな伝統の一つとして残す活動を行う所存である。来年度の定期戦は敵地築館高校での開催となっており、尚且つ3連覇が懸かっている。勝利を掴み取ることは決して容易ではないが、今まで先代が守り続けてきた「古高の誇り」を胸に敵地に立ち、一丸となって戦い抜くことをここに誓う。最後になるが、このような活動ができていけるのも、全古高生、同窓会や地域の方々、また活動を支援して下さる本学の職員の方々のお陰である。常日頃より我々を支えて下さっている皆様へ御恩を返すことができるよう、今後の応援活動に邁進していく所存だ。(2年5組 応援団長 米林大雅 小野田中学校出身)



新応援団長抱負

令和5年度 青少年健全育成標語入賞作品(高校の部)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 【最優秀賞】「見直して 送信ボタンを 押す前に」 | 1年4組 佐々木啓樹 (古川中出身) |
| 【優秀賞】「スマホより 目を見て話そう 家族時間」 | 1年6組 植村悠花 (古川中出身) |
| 【優秀賞】「悪ふざけ ネットに上げて 消せぬ過去」 | 1年3組 伊藤小代 (古川中出身) |

修学旅行を通して

考查・模試を乗り越えて行った修学旅行は、私達にとって一生の思い出になりました。初日は京都到着後すぐに金閣寺に行き、金色に輝くお堂に心奪われました。次に清水寺を参拝しました。清水の舞台からの景色はとても印象的で頭から離れません。2日目はクラス別研修で、私達のクラスは伏見稲荷大社、海遊館、USJへ行きました。特に印象深いのはUSJでした。そこでは沢山のアトラクションに乗り、いくつものお土産を買うことができました。久しぶりの絶叫はとても楽しかったです。3日目は班別研修で大阪道頓堀と京都の錦市場へ行きました。道頓堀では大阪の雰囲気を感じることができ、錦市場では長い歴史に培われた京都で店を営む方々の温かさを感じることができました。4日目はいよいよ最終日。最初に訪れた三十三間堂の「千手観音立像」ではとても迫力を感じ、最終見学地の嵐山では最後の京都を全力で満喫しました。驚くほど早い3泊4日でした。今回の研修で学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思います。

(2年4組 修学旅行実行委員長 野地竜輔 古川南中学校出身)



オープンスクールを終えて

昨年7月28日に開催された古川高校のオープンスクールでは30度を超える暑さの中、体育館がびっしり埋まり切る程の中学生及び保護者の方々に参加していただきました。私は、卒業した先輩方とともに古川高校の魅力について短い時間ではありましたが、紹介させていただきました。熱く練り広げられる定期戦、個性のぶつかり合いの文化祭、各クラスが命をかけて競い合う体育祭。古高で行われる様々な行事について、中学生の皆さんに楽しんでもらえるような発表を心がけました。大勢の人達の前での紹介ということもあり、多少の緊張はありましたが、少しでも本校の良さがオープンスクールに来てくれた方達に伝わったら良いなあと思います。暑期中、オープンスクールの運営に携わっていただいた先生方、運営生徒の皆さん、そして参加してくれた中学生及び保護者の皆さん、本当にありがとうございました。(3年2組 前生徒会副会長 加藤大樹 古川南中学校出身)

～各部活動の活躍～

文芸部 「感謝」 第38回全国高等学校文芸コンクール 詩部門入選

私が布団の中で書いた詩が、作者も知らない間に高い評価をいただいたようです。立派な賞をいただいて、全国の仲間との交流の機会を与えていただいて、なんだかもらってばかりです。チャンスを作ってくださった方々、文芸部の愛すべきみんな、先生方、私と関わってくれたすべての方々に感謝したいです。みなさんが私の創作の基礎でした。しかし、私は大層なものを書いていません。特に、今回賞をいただいた詩はとても個人的なものだと思います。作品としては気に入っていますが、種となった部分は自分のいやな部分です。でも、それを詩と呼んで読んでくださった方々がいてこんなに大きな賞をいただけました。その事実は賞より大きな意味を成すような気がしています。この度は本当にありがとうございました。この気持ちを忘れず、私はこれからも書き続けていきます。(3年1組 小野寺陽 古川東中学校出身)

陸上競技部 東北新人大会に出場して

陸上新人東北大会では、女子走高跳、男子三段跳、男子400mハードル、女子ハンマー投の四種目に参加しました。自己ベストを出して上位入賞をした種目と、そうでない種目と結果はそれぞれでしたが、試合の中でこれからの改善点や他の人のスキルを学ぶことができました。また、今回は部員全員が現地に行くことができ、自分の目で上位レベルの選手の試合を見て、肌で東北大会の雰囲気を感じることができた貴重な経験となりました。試合の雰囲気や各県の上位選手の争いを自分自身の目で見られたことは、部員全員のモチベーション向上に繋がりました。冬季の練習では個人の技術向上に努めると同時に、チームとしての団結力も高め、来年の総体で一人でも多く県予選を勝ち残り、東北大会に出場できるようお互い鼓舞しながら頑張りたいです。

(2年4組 陸上競技部 大道寺若菜 色麻中学校出身)



【第28回東北高等学校新人陸上競技選手権大会】

【写真左】男子三段跳 第4位 佐藤謙臣 【中】女子走高跳 第2位 白井奏羽 【右】女子ハンマー投 第6位 大道寺若菜
(古川南中出身) (古川南中出身)